



異常な暑さもようやく落ち着き、実りの秋はすぐそこですね！〇〇の秋♪今年はどうな秋にしますか？私はやっぱり食欲の秋にはかないません・・・。

第2回目も訪問介護事業所です。今回はファミリーケア新小岩の長谷川所長にお話を聞きました。

栗原 すこやか福祉会に入社した経緯を教えてください。

長谷川 当時の所長とママさんバレーで知り合ったのがきっかけです。そのときは別の会社でヘルパーをしていたのですが、その会社とファミリーケアの違いに愕然としました。

栗原 具体的にはどういうところですか？

長谷川 前の会社は直行直帰型で、資格を取ったばかりだったのに、同行も利用者情報も無く、地図だけ渡される状態でした。何も出来なくて利用者さんに申し訳なくて・・・。利用者さんの意思の尊重も全く無く、本当に涙が出ました。

栗原 地図だけ渡されるなんて想像できないですね・・・

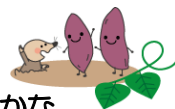
長谷川 ここに来てまず驚いたのが、事業所のみんながケアをしてくれること。オムツ交換も何回も何回も練習してくれて、厳しくて泣いたこともあったけれど、あのとき教えてくれたスタッフのおかげで今の私があると思っています。あとは様々な研修制度も整っているし、他事業所の同じ所長にも相談できる体制があるから安心して働けます。

栗原 所長になってからは4年が経ちますが・・・

長谷川 職員の体調を考慮してコースも作らないといけないし、売り上げ(経営)も考えないといけないし、もちろん訪問もあるし、正直私の力量を超えているんです(笑)それでも「よし！頑張ろう！」と思えるのは、一緒に頑張っていける職員みんながいるからです。

栗原 休日はどう過ごしていますか？

長谷川 寝る！食べる！飲む(笑)
ポロン(愛犬)と娘と過ごすことかな。
最近は疲れがなかなかとれなくて・・・。
歳のせい？！！



栗原 最後に、訪問介護は長谷川さんにとってどういう仕事ですか？

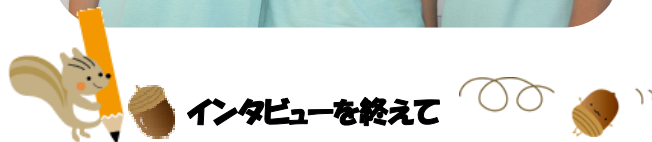
長谷川 (利用者さんと)一対一で向き合うのは本当に大変で、終わりが見えない仕事ですね。もちろん生活の為に働くけど、正直それだけではやってられないですね(笑)

それでも続けられるのは、はじめは拒否していた利用者さんがちょっとずつ受け入れてくれるようになったり、家族の対応も変化していったり、私自身も利用者さんに教えられことがたくさんあるからです。月並みだけど「ありがとう」や笑顔に支えられています。もし宝くじがあたっても、(この仕事は)辞めないだろうなあ。

やっぱり、この仕事が好きなんです！



真ん中が長谷川所長



ファミリーケア新小岩はいつでも「いってきます」「いってらっしゃい」と明るい声が響きます。

長谷川所長は本当に仕事熱心で、いつも周りを優しく気遣って、みんなから頼りにされています。またユニークな発言でみんなを笑顔にしてくれます(笑)「休日ですか・・・？休日は近所の親水公園で新規の利用者さん探しをしています。あっ違うか！」

インタビュアー：栗原 つむぎ



デイレク

かばらデイサービスセンター

《タオル体操》

【必要物品】 各利用者様にタオル1枚

【目 的】 上肢・下肢の機能訓練、他者との交流

ご利用者様と一緒に輪になってタオルを使用した体操です。唄を歌いながら、両手で持ち、腕の上げ下ろしをしたり、横へ倒したり、またタオルの端を結び結び



目に肩が当たるように肩たたきをしたりと、バリエーション豊かに様々な体操が出来ます。時にはご利用者様に靴・靴下を脱いでいただき、裸足になり、床に敷いたタオルを足の指を使って引き寄せたり、たたんでみたりと下肢の体操も出来ます。

輪になって行うことでご利用者様同士のお顔を見ながら、体操が出来るので、会話も弾み楽しんでいただけます。

《タコちゃん巻き巻きゲーム》

【必要物品】 残りわずかのトイレットペーパー

タコちゃん（お花紙で作ったもの。でるてる坊主を作る要領で作成）

【目 的】 手指の運動・他者との交流

- ① トイレットペーパーをテーブルの上に伸ばした状態でセットし、端には「タコちゃん」をのせておく。
- ② 合図で「タコちゃん」を落とさないよう、トイレットペーパーを巻き巻きし、早く巻けた人の勝ち。



タコちゃん



落とさないよう慎重に

早く巻こうとすると、たこちゃんが落ちてしまったり、トイレットペーパーが破けてしまったりする。

早さよりも、きれいに巻きたいと思う方や、スピード重視で巻き方の雑な方など、それぞれの性格も垣間見えるゲームです。

また、たこちゃんは簡単につくれるので、利用者様と一緒に製作してから、ゲームを行うといいですよ。

かばらデイサービスセンター 山川 剛也



アトリエ

『長年の趣味』

ファミリーケア戸ヶ崎



自慢のコレクション

壺田さんは10歳の時から興味を持ち、ラジコンを作り始めたそうです。

「もう70年になったよ」と長年の趣味を見せていただきました。

特殊なものは外の土手へ行くのですが、ラジコンを飛ばして良いという決められた場所があるそうです。

以前は50CCのエンジンをつけたものを仲間と外で飛ばしていたそうですが、現在は室内で飛ばせるように小型のラジコンを作っているらしいです。

今回は今飛ばしている小型のラジコンと一緒に写真を撮らせていただきました。

今でも大型の飛行機は部屋の壁に飾られています。



壺田さんラジコンと一緒に



自慢のコレクション



「出費がすごい為、家族に迷惑をかけたんだ」と話されていました。

なんとラジコン1体の値段は高いもので100万～500万するそうです。

ファミリーケア戸ヶ崎

小川 倫子